学校番号	111

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　新編　化学基礎」　（数研出版）						
副教材等	基礎セレクト化学基礎　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ノートやプリントをきっちりと書きこんでください。考査前や後で見て理解できるような状態にしてください。授業は、積極的に参加し、わからない点や疑問に思ったことは積極的に教員に質問するようにしてください。
・考査前には、教科書や参考書を用いて、何度もくりかえしやり理解を深めるようにしてください。
・考査は、問題文をしっかり読み何を聞かれているのかをよく考えて答えるように。また、時間が余れば見直すようにしてください。

２　学習の到達目標

１．私たちが着ているもの、食べているもの、住んでいる建物がどんな物質からできているか、身の回りの化学反応がどうして起こるのか、観察･実験などを通して探究する能力と態度を身につけよう。化学の基本概念や原理・法則を理解し，科学的に考え正しく表現する方法を身につけよう。
２．現代社会における化学の役割や必要性を理解し、環境に配慮した上で、健康で安全な生活を送るために自分たちができることを考えよう。
３．実験の過程や結果を的確に記録し整理する力、正しい手順で安全に配慮し実験を行うこと、時間･ルールを守ることを学び、公正・協力・責任などの社会的態度を身につけよう。
４．新聞、書籍、インターネットなどの資料から自分の知りたい情報を集め、調べ学習や発表などを通して、学んだことをわかりやすく、正確に人に伝えられる力を身につけよう。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	･身の回りの物質や化学現象に関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。 ･実験に積極的に参加し、仲間と協力しているか。	・原子の電子配置の違い(周期表)によって､物質の化学的性質が決まるという化学的な考え方ができるか。 ・実験で観察したことを正確に表現でき､結果を整理できるか。	・化学実験の基本操作を安全に配慮して行うことができるか。 ・モルの計算ができるか。	物質の性質や化学現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・班員との協力 ・授業ノート提出 ・問題集点検	・小テスト ・実験態度 ・実験プリント提出	・実験態度 ・実験プリント ・小テスト	･小テスト ・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	物質の構成と化学結合	純物質と混合物(物質の成分) 物質の三態と熱運動 原子の構造・イオン 元素の周期表 粒子の結合	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:しょうゆ・ワインの分離・分子模型・オリジナル周期表つくりを通して、身の回りの物質に興味関心をもち意欲的に探求しようとする。仲間と協力する。	実験態度・授業ノート・問題集
							b:電子配置によって、化学結合の違い・化学的性質の違いが生じることを考えることができる。	小テスト
							c:混合物(しょうゆ・ワイン)の分離実験を行い、化学実験の基本操作を習得するとともに結果を的確に記録している。	実験態度・実験プリント
							d:物質の構造や性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	定期考査・小テスト
2学期	物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応の量的関係	 ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:いろいろな物質の1モルの量に関心をもち、実験も意欲的に取り組む。	授業ノート・問題集
							b:原子量・分子量・式量と物質量および化学反応式を理解し、化学反応の量的関係を考察できる。	小テスト
							c:化学反応と物質量の関係を調べる実験を行い、表やグラフで解析できる。溶液の濃度を調整する技術を習得している。	実験態度・実験プリント
							d:物質量・化学反応式について理解し、知識を身に付けている。	定期考査・小テスト
3学期	酸と塩基の反応	酸・塩基 水の電離と pH 中和反応と塩の生成 中和滴定	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:酸・塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。仲間と協力して実験する。	授業ノート・問題集
							b:酸と塩基の性質を、水素イオンと水酸化物イオンに関連付けて考察している。	授業ノート・小テスト
							c:紫キャベツの煮汁と pH の実験・中和滴定実験を行い、器具の扱い方や指示薬についての技能を習得する。	実験態度・実験プリント
							d:　酸と塩基・pH・中和反応について理解し、基本的な知識を身に付けている。	定期考査・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。